1.

社会的責任理論はプレスの自由に関する四理論の一つである。1946年、シーバートによって《自由と責任に関する》という報告書に「プレスの自由に関する四理論」が提出された。社会的責任理論では、ある望ましい目的を達成するのに道具を要求する「積極的自由」を採用されたのである。

　自由主義理論はマス・メディアの活動に対する政府の関与について否定的な判断を下していたのに対し、社会的責任理論はマス・メディア活動に関与することの必要性が認めている。社会的責任理論はマスコミの政治制度への奉仕、公衆の啓発、個人自由の実現という役割を認める点では自由主義理論と共通する。ただし、近代社会ではマス・メディアはそうした役割を十分に果たしてこなかったと考える。

　そして、社会的責任理論はマス・メディアに対し、五つの行動をとることを要請している。一つ目、その日の出来事についての、真実で、総合で、理知的な記事を、それらの出来事の意味が分かるような文脈の中で報道すること。二つ目、説明と批判の交流の場として奉仕すること。すなわち、掲示板の機能を果たすこと。三つ目、社会を構成している各集団の代表像を映し出すこと。例えば、ステレオタイプの描写をさけること。四つ目、社会の目標や価値を提出し、かつ明らかにする責任を負うべきこと。最後、現在の情報に接近する十分な機会を提供すること。

３次の質問を回答してください

アンダーソン理論に関して、

①その理論を簡潔にまとめ

アンダーソン理論はアンダーソンによって、『想像の共同体』に提出された想像の共同体という理論である。想像の共同体とは、国民は社会的に構成されたコミュニティであり、それは、当該集団の一部として自己を認識する人々により想像されたものである。

一方、国民共同の想像力への喚起することで、最も重要なのは出版言語である。出版資本主義により出版言語が登場することで、口語では相互の理解が不可能だった人々の間でコミュニケーションが可能になった。そのことで見ず知らずの「同胞」への想像を生み出した。そして、共同の出版言語に通じて、見ず知らずの同胞との相互理解に関するイメージが共有されていく。

②あなたが重要と思う理論について具体例を用いて説明してください。

　私が重要と思うのはナショナリズム理論だ。ナショナリズムとは、人々の集まりの基本的な単位を国家とし、その構成員たる国民を維持、発展させる政治信条である。